

残る
消えゆく



加茂郡太田村地籍図（明治初期）

おこなわて
「大縄手」のはなし

JR 美濃太田駅北、今の大手町辺りは昔「大縄手」と呼ばれていました。この地名の由来は多々あり、その幾つかには古代の条里制じょうりせいに関連しているものがあります。

例えば、「縄手」は田んぼのあぜ道あぜみちや長く続く真っすぐな道を意味し、駅北から加茂川辺りまで、南北に真っすぐな道があったため大縄手とついたといわれています。この直線の道も条里制によって土地が整備された時にできたものと伝えられています。

※条里制…古代日本で行われた水田を碁盤の目のように区切った土地制度

地名のはなし

五